

- 1 自ら学び自ら考える生徒
- 2 認め合い協力する生徒
- 3 明るくたくましい生徒

燃える闘魂 輝く一条

2年生 立志式、スキー教室を無事に実施できました

新しい年が明けた途端、コロナウィルスの「オミクロン株」が瞬間に流行しはじめ、「今年は、いつもの年に戻るのでは……」という願いが叶うのは、もう少し先の話になってしまいました。

本校としては、オミクロン株の特性を考慮しつつ、1月25日の立志式と2月4日のスキー教室をどうすれば実施できるか、それが最初の難問となりました。しかし、教職員や子どもたちの努力、ご家庭のご理解、協力を得て、無事に実施することができました。バスの座席や昼食のとり方等、直前の変更に応じてくださった旅行会社やスキー場の皆さんにも感謝です。

今の2年生は、入学式の際に保護者の参列が叶わず、それ以来、授業参観もなく、学校行事も縮小され、子どもたちにも保護者にも、そして教職員にとっても我慢の2年間でした。今回、2つの行事が無事に行えたことは、大変大きな自信となりました、これからも、先を見通しながら、感染症対策と力強い教育活動の両立を図ってきたいと思います。



立志式・宮っこチャレンジウィーク報告会



天気にも恵まれたスキー教室(エーデルワイススキーリゾート)

1年生 甲斐裕美先生をお招きしての「いのちの授業」、市職員とリモートで環境学習

NPO 法人生きるちから vivace の甲斐先生からは、難病や障がいを持つ子どもたちのホスピスボランティアの経験にもとづいた命の大切さを、市環境政策課の皆さんからは、2週にわたってSDGsや本市の目指す環境未来都市の姿を学びました。いのちの授業には、2年生の保護者十数名が参観くださいました。



いのちの授業(1/13)



市役所と教室をつないだ環境学習(2/3・10)

2学期のスローガン「学んだことを形に表そう」が実を結んでいます

学校には、授業や学校行事、生徒会活動、部活動など、学びの場はたくさんありますが、本校では、そのどれにも属さない、子どもたちと教職員のアイデアにより、隙間時間を使って任意で展開する学習があります。そのいくつかを紹介します。

1 宮っ子の誓い大使 宮っ子の誓いカードに3つのスタンプを集め、宣言を書いて教育企画課へ提出すると、「宮っ子の誓い大使認定証」が届き、宮っ子の誓い大使となります。宮っ子の誓い大使の役割は、①進んで行動する ②周りの人に広める ③リーダーとして行動する ④広く市民の人に広める ⑤大使同士で積極的な活動を行う の5つ。本校では、任意の活動としてこれを推奨し、リーダー的資質の育成を進めています。



2 新聞クラブ 令和2年度にNIE (Newspaper in Education) 全国大会で授業公開を行った本校では、生徒の任意の活動として新聞クラブが活動を続けています。今年、1年生の奥村円香さんが「第12回いっしょに読もう新聞コンクール」で本県中学生ではただ一人奨励賞を受賞し、本校も学校奨励賞に輝きました。



本校生徒が全国トップの栄誉 第54回全国おかねの作文コンクール 特選の金融担当大臣賞受賞!!!



2年生の岩井颯葉さんの作文「思いやりのお金」が、特選に選ばれました。おかげで本校も学校賞を受賞。

参加費のかかるゴミ拾い活動に母親と一緒に参加したことで、お金に関する価値観が変わったことがつづられている、素敵な作文でした。



4. 質の高い教育をみんなに

すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

一条中は、SDGs (持続可能な開発目標) に関する学習を実践し、その達成に向けて努力しています。